

Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 スマイル&ハート vol.69

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

2025年
春号



Homepage



Facebook



Instagram

Homepage <https://hamada.hosp.go.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter/>

④ 浜田医療センター で検索！

Instagram https://www.instagram.com/hamada_medical_center/

予防接種について

認定看護師の活動について

2024年度浜田地区連絡会
総合事故対応訓練学会発表

第78回 国立病院総合医学会(大阪)発表

地域医療連携室

出前講座(BLS)

研修医だより

看護学校だより

公式Instagramを開設しました

春の特別メニュー

がん相談支援センターだより

令和7年度採用看護師・助産師募集

外来診療担当医表



医療を通じて
「地域で生きる」を
支援する

お子さまの

予防接種について

小児科医長 堀江 昭好

2025年となり、春から入学・進学など新たな生活を送る方も多いと思います。新生活に向けての準備も忙しくなると思いますが、確認していただきたい事の一つに予防接種があります。お子さんの母子手帳には、どのワクチンを接種したか、接種日はいつだったか、どの医療機関で接種したかなどが記載されているページがあると思います。

ぜひ一度、小児科学会のHPに掲載されているワクチンスケジュールと見比べて、お子さんのワクチンが接種されているか確認してみてください。

新型コロナウイルスワクチンは皆さんの記憶に新しいと思いますが、予防接種も進歩が続いています。小児のワクチンに関しても、2024年には5種混合ワクチン、20価結合型肺炎球菌ワクチンなど新しいワクチンが使用できるようになりました。予防接種は「各種の病原体に対して免疫を持たない感受性者への免疫賦与あるいは、免疫の増強効果（ブースター効果）を目的に行われるもの」とされています。具体的に、なぜ予防接種が大切かという、予防接種の役割として、

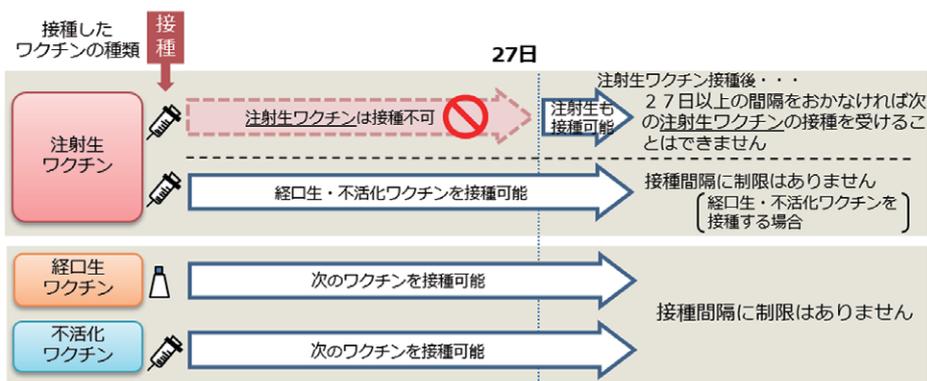
- 1 病原体の感染を予防する
- 2 発病しても重症化する可能性を低く抑える
- 3 感染を広げることがを予防する

といった効果があります。ワクチンを接種したお子さん本人だけでなく、一緒に生活する友人や家族全体も守ることもつながります。

しかし、頻度は低いですが、アレルギー反応など接種することによるデメリットもゼロではありません。予防接種に関して不安がある場合には、かかりつけの先生に相談するなどしてみてください。

予防接種の分類にもいろいろありますが、その一つに定期接種、任意接種、海外渡航前の予防接種という分類があります。定期接種は各市町村が主体となって行うもので、各自治体からご家庭に予防接種の案内や問診票が届けられるはずですが、特に新生活で転居された場合など、市町村からのお知らせが届かなかったというケースもありますので注意が必要です。それぞれの予防接種には、理想とされる接種時期や接種間隔、また接種費用補助の期限があります。しかし、医学的な理由がある場合には、費用補助の期限が過ぎていたとしても接種できる場合がありますので、母子手帳を確認して、接種が確認できないワクチンがある場合には、市役所や医療機関で質問してみてください。

令和2年10月1日からの「異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルール」



基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式facebook・Instagramを作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter/>



浜田医療センター で検索！

Instagram

https://www.instagram.com/hamada_medical_center/



contents

- 2 予防接種について
- 3 認定看護師の活動について
- 4～5 2024年度浜田地区連絡会総合事故対応訓練
- 6～8 学会発表
- 9 地域医療連携室
- 10 出前講座(BLS)
- 11 研修医だより
- 12 看護学校だより
- 13 公式Instagramを開設しました
春の特別メニュー
- 14 がん相談支援センターだより
- 15 令和7年度採用看護師・助産師募集
- 16 外来診療担当医表

『生きる』を支える 意思決定支援

病床管理担当師長 緩和ケア認定看護師 清水 里夏子

令和6年12月18日(水)全職員対象の倫理研修を開催しました。タイトルは『『生きる』を支える意思決定支援』として、様々な病気やライフスタイル、ライフイベントを抱えながら、最期までその人らしく『生きる』とはどういうことか、研修参加者が自分に置き換えて考えられる『もしバナゲーム』をしました。

命の危機が迫った状態になると、約70%の方が、受けない(あるいは受けたくない)医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。そういった『もしもの時』について、大切な方と話し合ったことはありますか。「分かってはいるけど、なんとなく、縁起でもない」と言って避けていませんか。「話し合わない」という選択も尊重します。しかし、人生の最期をどう過ごしたいか考えたり話し合ったりして、友人や家族といった大切な人に自分の願いを伝えておくことで、『もしもの時』に自分だけでなく、貴方の大切な人の苦しみも緩和します。そういった話し合いをゲーム感覚で体験できるのが『もしバナゲーム』です。

研修では、人生会議(Advance Care Planning: アドバンス・ケア・プランニング)の講義後に皆さんで『もしバナゲーム』をしました。このゲームは、重病の時や死の間際に「大事なこと」として人がよく口にする言葉が書いてあります。例えば「どのようにケアして欲しいか」「誰にそばにいて欲しいか」「自分にとって何が大事か」といった内容です。1枚ずつカードを取り、自分にとって大事

なことが書いてあるカードは手元に残し、そうでないカードは捨てていきます。自分自身の価値観を考え、一緒にプレイする人と価値観を語り合うことで、自分自身の『生きる』について考え人生会議の一端に触れる体験となりました。参加者からは、価値観は個人によって職種によってこんなに違うのかと驚いたといった感想が聞かれました。

患者さんの意思決定を支援するには、多専門職種による多面的な価値観を貴重としたチームアプローチが必要です。また、超高齢社会を迎え、様々な体験、人生観、価値観をもつ高齢患者さんに対するEOLケア(End-of-Life Care)の一環としても、意思決定支援は大きな課題です。

今回の研修は、管理課職員、診療情報管理士、看護師の方々に参加してくださいました。今後も様々な職種の方々と一緒に語り合っ、患者さんに支援を届けていきたいと思ひます。



『もしバナゲーム』の様子

2024年度 浜田地区連絡会 総合事故対応訓練

浜田医療センター DMAT

診療部長（消化器内科） 古田晃一朗
副看護師長 當田 晶子
診療看護師 平木 達也
医事専門職 地田 浩二

12月6日にJR、浜田警察署、浜田市消防本部、浜田市など複数機関による訓練があり、浜田医療センターはDMATとして、附属看護学校の学生は患者役として参加しました。

出動までの準備

列車内に刃物を持つ男性と多数傷病者が発生という情報から、外傷に対応する医療資器材を準備し安全のためヘルメットや安全靴を身に付けました。

出動

医師1名、看護師2名、業務調整員1名が出動しました。現場到着後、消防現場指揮所に到着を報告、指揮命令系統や活動内容を確認して業務調整員は消防現場指揮所に残り、医師、看護師は列車へ向かいました。

現場活動

事故は1両目で発生、私達は2両目の車両に乗り込みました。消防職員がトリアージした傷病者が次々と搬送されます。平時とは異なる環境で医療処置を行いました。処置を受けた傷病者は医師の判断のもと消防職員により速やかに列車外へ搬送されました。

訓練を通して

各機関が専門性を発揮しながら協働する大切さに気付きました。私達は医療提供や医学的判断を求められており、DMATが現場に出る意義を再認識しました。他機関との情報共有、役割分担が重要ですが訓練でその難しさを体験出来ました。

まとめ

当院は浜田駅と連結しJR山陰本線がすぐそばを通っています。有事の際には今回の訓練が役立つと考えます。今後も、積極的に訓練に参加し、顔の見える関係を作りながら研鑽したいと思います。



第78回 国立病院総合医学会発表

外来副看護師長 救急看護認定看護師 當田 晶子

今回「ハイブリットな災害訓練の効果と当院の課題」と題して、当院の災害訓練について発表させて頂きました。訓練を振り返ることで課題が明確になり、私自身も多くの学びを得ることが出来ました。訓練には、病院長はじめ多部門の職員が参加しました。災害に対する危機感を個人で持ち続けるのは困難です。今後も、災害への備えとして病院全体での定期的な訓練が必要と考えます。



浜田医療センターでのタスクシフト/シェア

診療看護師 田向 宏和

医師は外来及び特殊検査、入院患者対応、救急対応と様々な業務に従事している。当院の診療看護師(NP)の活動は、医師と協働しながら救急外来での初期対応や入院中の患者さんの状態変化時の対応、カテーテル

検査の助手など幅広く活動している。医師の業務の一部をタスクシフト/シェアすることにより、患者さんに安全でタイムリーな医療を提供できる。当院でどのようなタスクシフト/シェアを行っているか報告会で報告した。

第78回国立病院総合医学学会の発表(ポスター部門)を経験にして

放射線科照射主任 船田 典宏

10月18日・19日、大阪グランキューブで開催された第78回国立病院総合医学学会の発表(ポスター部門)に参加しました。発表内容は、放射線治療機器更新に伴い導入された光学式体表面トラックキングシステムCatalystの使用経験についての発表でした。発表前に緊張していましたが、徐々に慣れてきて、丁寧に落ち着いて発表を行うことができました。

しかし、内容を詰め込みすぎて時間をオーバーしてしまったことが今回の反省点でした。機会があれば今後も学会等に参加したいと思います。

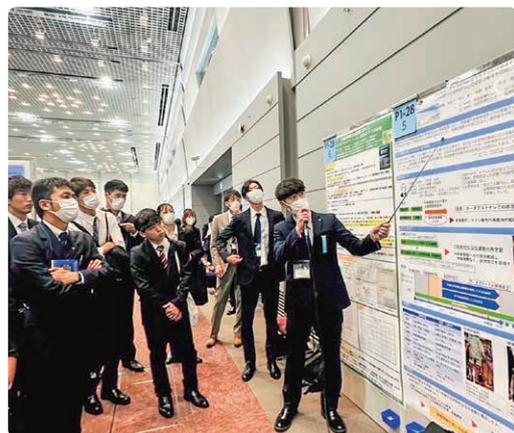


国立病院総合医学会に参加して

理学療法士 伊藤 裕太

この度、初めて国立病院総合医学会へ参加させて頂きました。まだまだ至らない点がありますが、試行錯誤しながら臨床で実施したことを発表することで、自分の普段から行っているリハビリに多少なりとも自信を持つことができました。

また、学会期間中に他施設の方と話しをする機会も多くあり、各施設の取り組みやプライベートに近い話など普段聞けないことも聞くことができ、非常に有意義なものになりました。また、参加しようと思います。



パネルディスカッション 「看護学校で活用している、活用したいIT」

教育主事 藤井 光輝

10月19日(土)に学校長協議会パネルディスカッションで発表、ディスカッションを行いました。本校は様々なIT(Information Technology:情報技術)を活用して講義や演習などが行われています。本校で活用されているITについて学会で発表した内容の一部をご紹介します。

1. 合同カリキュラムにおけるITの活用

本校は国立病院機構のネットワークを活かして科目の21%を3校(島根-山口-広島)合同カリキュラムで運用しています。オンライン授業やオンデマンド授業を併用しながら専門的な講師による講義が行われます。講義内では、他校と意見交換を交わす科目もあり学びを深化させています。講義内容は録画して学習支援システムに掲載するため、再度閲覧するなど授業の振り返りができるようになっています。合同カリキュラムにより講師の負担も分散され働き方改革に貢献します。



図1 合同カリキュラム授業の録画された動画

2. 先端IT機器やアプリケーションの活用

本校では、電子テキストを授業のほか臨地実習の場でも活用しています。分厚く数十冊のテキストを持ち歩くことはできません。しかし、電子テキストならタブレットにデータが全て入り検索や画像閲覧もわかりやすく、すぐ調べて理解するという点では重宝します。

演習では、今年度選定された厚生労働省DX促進事業の一環で図2のように教員がスマートグラスを着用して看護師や患者役となり演じることでリアルタイムに看護師・患者視点の映像が各学生端末に配信され疑似体験できるシステム運用をしています。その映像はオンタイムで保存され支援システムで振り返り閲覧ができます。

チャット機能も追加しました。授業内で学生は疑問をチャットで入力。疑問点を確認して講師が解決へと導きます。この事業は検証後に全国公表します。学会では、現時点でのシステム開発や使用状況をお話ししました。また、アプリケーションでは何かと話題のチャットGPTの可能性として国家試験対策問題を個の特性に合わせて作成する方法を話しました。

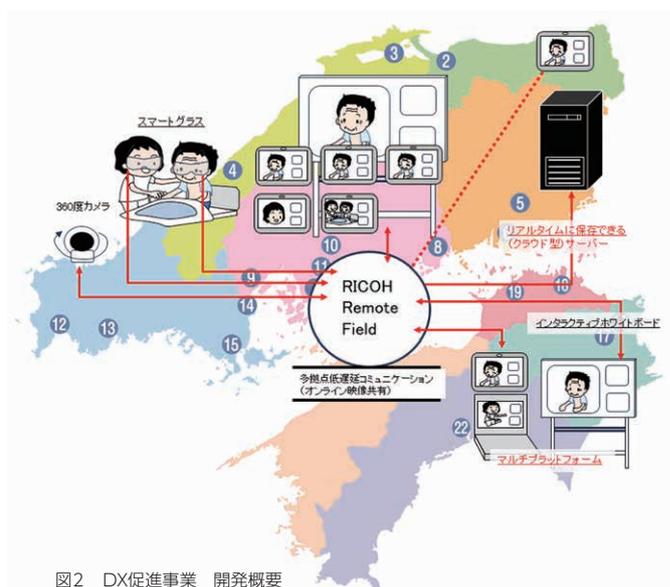


図2 DX促進事業 開発概要

ディスカッションでは、3校合同カリキュラムのような運用が全国にある国立病院機構の学校に波及して運用できる可能性はあるかなど意見交換しました。

IT機器は非常に便利です。しかし、扱いや考え方を間違えるとマイナスに向かうものです。IT機器の活用は教育や看護の対象である人と向き合う時間を捻出するためのものだと考えています。浜田の地域で実際に人と触れ合う大切さとともに最先端のIT技術も用いながら看護師にとって必要な知識や豊かな人間性を身につけられる教育に努めていきたいと思います。

骨折リエゾンチームにおける 二次性骨折予防の取り組み

医療ソーシャルワーカー (MSW) 山本 悠策

私は「当院の骨折リエゾンチームにおける二次性骨折予防の取り組みについて」の演題でポスター発表を行いました。当院の取り組みに対して質疑応答で、「地域連携パスがありますか」と興味をもった質問もあり、地域とどのように今後協働していくか、チームで具体的に考えていく必要があると感じました。

また、他病院の発表で当院とは違う地域事情での様々な取り組みを聴き、得るものが多くありました。全国の皆様からいただいた刺激を糧に、これからの業務に活かしていきたいと思います。発表やその準備等、関わっていただいた皆様ありがとうございました。



ご家族へ説明・介入する取り組みを 2題発表

入退院サポート 三澤 綾 / 田向 幸

入院・退院サポートコーナーでは、入院予定の患者さんに、現在の生活についてお話を伺い、入院生活や退院に向けての準備、退院後の生活について予測しながら、入院前にお話しを伺っています。

今回、国立病院総合医学会において、患者さんの入院から退院までの不安を少しでも解消し安心して入院を迎えていただくための患者さんやご家族へ説明・介入する取り組みを2題発表しました。また、他院での取り組みを知ることができ、学びの多い学会となりました。なんと、今回の発表ではポスター賞もいただき、皆で日々の頑張りを認め合い、泣いて喜び合いました♪

まだまだ入院・退院サポートコーナーをご存じない方もおられると思います。入院までの時間をより安心して過ごしていただけるようお話しさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。





地域医療連携室

MSWのつぶやき

私たち医療ソーシャルワーカーは、日々、患者様・家族様から様々な相談をお受けしています。

今回は、私たち医療ソーシャルワーカーが患者様や家族様と面談するにあたって、大切にしている『バイスティックの7原則』についてお話していきたいと思います。

『バイスティックの7原則』とは、アメリカのケースワーカーで社会福祉学者のフェリックス・P・バイスティックが、1957年に著書『ケースワークの原則』で記した原則です。社会福祉士の勉強で、一番初めに学ぶもので、以下の7つの項目によって構成されています。

- 1.個別化の原則
- 2.受容の原則
- 3.意図的な感情表出の原則
- 4.統制された情緒的関与の原則
- 5.非審判的態度の原則
- 6.自己決定の原則
- 7.秘密保持の原則

相談者の方の困り事や心配事は、それぞれ違います。私たちは、相談援助で信頼してもらうため、個別性を大切に、相談者の方の思いに寄り添います。医療ソーシャルワーカー自身の価値観などで物事を判断せず、相談者の方が、これからの考えや気持ちを表出できるように意識しながら、できる限り希望に寄り添った退院支援・調整ができるよう支援しています。もちろん、面談でお聞きした個人情報保護されますので、もし、話を聞いてみたいことがあれば、お気軽にご相談ください。

お気軽にご相談ください



治療をしながら仕事を続けたいあなたをサポートします!

治療と仕事の両立支援

このようなお悩みを社会保険労務士に相談してみませんか？
お気軽にお問い合わせください。

- 病気や不妊治療のために仕事を続けようか迷っている
- 治療費のことが心配
… 傷病手当金や障害年金、高額療養費など医療費制度について知りたい
- 病気のことを会社にうまく伝えられない
- 職場で配慮してほしい など

開設日 2024年度〈4回の開催予定〉
 6月10日 終了しました / 9月11日 終了しました
 12月12日 終了しました / 3月18日 火

事前予約

時間 13~15時

対象 患者(労働者)、家族、職場の方

場所 浜田医療センター 地域医療連携室
(当日の相談は当院からオンラインで実施します)

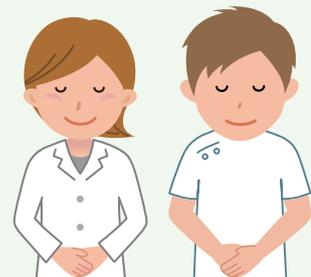
【担当】 浜田医療センター 地域医療連携室
tel.0855-25-0505 (代表) (平日9時~16時)



地域従事者研修会

2/20の研修をもちまして、今年度の研修会全日程終了となりました。今年度は集合研修を4回、オンライン研修を5回開催しました。たくさんのご参加ありがとうございました。

来年度の予定につきましては、年度初めの広報誌にてお知らせいたします。引き続きよろしく申し上げます。



出前講座(BLS:一次救命処置)

集中ケア認定看護師 新田 美喜子
クリティカルケア認定看護師 中田 健

当院には13名の認定看護師が在籍しており、各分野の認定看護師が地域の方に向けた出前講座を行っています。今回、一次救命処置(BLS)に関する出前講座の依頼があり、集中ケア認定看護師とクリティカルケア認定看護師の2名がルートイン浜田駅前前で研修を行いましたのでその様子を皆さんにお伝えしたいと思います。

今回は12月25日にルートイン浜田駅前のホテル内のレストランで一時救命処置の練習を行いました。事前にルートインの担当者の方と打ち合わせを行い、一次救命処置の練習も初めての方が多く基本的な対応(声かけや胸骨圧迫の方法、AEDの使用方法)を中心に研修を行いました。研修当日には、ホテル従業員30名(受付、清掃、レストラン関係等)が参加されていました。

研修では人形を使用し、発見時の声のかけ方や胸骨圧迫の方法、AEDの使用方法についてグループに分かれ実技を中心に行いました。胸骨圧迫の練習の際には、胸骨圧迫の深さや速さを専用のアプリで可視化し体験してもらいました。研修を進めるにつれて、大きな声で協力しながら練習されている様子が見られ、私たちも楽しみながら研修を進めることができました。

参加されたホテル従業員の方からも「ベッドの上で発見した場合にはどうしたらいいですか」「ネックレスなどの貴金属がある場合にはどうしたらいいですか」「心臓マッサージをするときに、背中の下に固い板を入れたほうがいいですか」など質問される場面もありました。その他にも「救命処置と聞いていたが楽しくできてよかった」「可視化されていてとても分かりやすかった」「分かりやすく楽しく学べた」と感想をいただきました。

普段私たちは、院内急変対策チーム(Rapid Response Team)として、院内外の医療従事者に急変時の対応訓練を定期的に行っていますが、今回のように地域の方に急変対応をする機会は初めてであり、ホテル従業員の方の多くの反応を嬉しく思いました。今回研修に参加することができなかつた方もおられたため、今後もルートイン浜田駅前の要望に合わせて引き続きサポートさせていただきたいと思っています。

私たちは一次救命処置(BLS)以外にも、フィジカルアセスメント(呼吸/循環/意識の評価)なども地域の方のご要望に応じて対応が可能ですので、いつでもご連絡ください。



命を守り育む医師を目指して



研修医だより

初期研修医1年目 上野 知輝

(令和6年3月島根大学医学部卒)



寒さの厳しい日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。浜田医療センターの初期研修医1年目の上野知輝と申します。よろしくお祈りします。1月の研修医だよりを担当させていただくことになりましたので、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は島根県安来市の出身で、中学と高校は松江市の学校に通い、大学は島根大学医学部で過ごしました。小学生のころからサッカーをしており、中学、高校、大学もサッカーに打ち込んだ学生生活でした。部活動中心の学生生活で、厳しいトレーニングなど辛いこともありましたが、今思い返すととても良い思い出です。大会では目標としていたような成果を上げることはできませんでしたが、一つのことを継続して取り組んだ経験は今でも私の支えとなっています。働き始めてからは運動する機会は減ってしまいましたが、時々地域のサッカーチームに誘っていただき体を動かしており、とても楽しい時間となっています。

4月から浜田市での生活が始まりましたが、島根県西部にはこれまで何度か訪れたことがある程度で住むのは初めてでした。初めは馴染めるのかやや不安に感じていた浜田での生活ですが、早くも1年弱が過ぎ、今では

すっかり居心地の良さを感じています。私がこれまで過ごしてきた安来や出雲に比べ気候は穏やかで過ごしやすい環境であり、人柄も暖かく、あじや赤天など美味しい食べ物もたくさんあります。そんな浜田市での生活を満喫していますが、まだまだ知らない浜田市の魅力もたくさんあるはずなので、これからの生活で更に浜田の良さを見つけていきたいと思っています。

浜田医療センターでの研修医生活ももう少しで1年が経とうとしています。4月に入職した頃には右も左も分からず、指導医の先生について歩くことしか出来ないような状態でした。どれほど成長できているのかは分かりませんが、ご多忙の中ご指導いただいている先生方や温かく接してくださる医療スタッフの方々、また研修に快くご協力くださる患者様たちのおかげで、まだまだ未熟さを感じながらも日々研修を続けられています。こういった素晴らしい環境で研修できていることに感謝の気持ちを忘れず、残りの研修生活も精一杯研鑽を積んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、拙い文章にお付き合いいただきありがとうございました。寒い日がまだまだ続きますので、体調を崩されませんようくれぐれもご自愛ください。

看護学校だより



ホームページ

浜田医療センター附属看護学校(はまかん) <https://hamada.hosp.go.jp/hamakan/>

この時期3年生は、看護師国家試験に向けて学習のラストスパートに入っています。その中で実習や講義でお世話になった方々から、ミカンやお菓子など応援の品を頂き、周りの人達に支えられていることに感謝し、学習の合間に頂くことで気合いを入れて再び学習に取り組んでいます。またJR浜田駅からもお守りを頂いたり、出雲大社石見分祀に3年生全員で参拝し合格祈願をしました。今号が発刊される頃は国家試験を終え、全員で吉報を待つばかりです。合格祈願のダルマにも目を書き入れることができるかと信じています。



Instagram・TikTokにも
掲載しています。ぜひご覧ください

浜田医療センター附属看護学校
イメージキャラクター「ハマミちゃん」



@HAMAKANGAKKOU



公式Instagramを開設しました

今後、当院で実施するイベントや大切なお知らせを随時お伝えしてまいります。例えば、健康に関する院内イベントや市民公開講座など、皆さまが参加できるさまざまなイベントをご案内いたします。

浜田医療センターでは医療を通じて「地域で生きる」を支援するため、これからも地域の皆様へ役立つ情報を提供、発信してまいります。

詳しくは下記の二次元バーコードをご覧ください。

Instagram アカウント

HAMADA_MEDICAL_CENTER

フォローや「いいね」お待ちしております！



@HAMADA_MEDICAL_CENTER



春の特別メニュー

栄養管理室

入院されている皆様の食事サービス向上のため、特別メニューとして趣向を凝らしたお料理をご用意させていただきます。

お料理の内容は、旬の食材や地元の特産品を使用し、季節の味わえる内容に仕上げ、御品書きには、使用している食材の栄養成分についてや、それぞれの料理に込めた思いを添えさせていただきます。

季節ごとにメニューを更新し、旬の食材をはじめ、注目を集めている食材や調理法を取り入れていきたいと思っております。ぜひ一度お試しください。

特別メニューは

- **実施日** 夕食 曜日ごとに病棟交代

月	3北・3南	火	4北・4南
金	5北・5南・緩和		
- **対象** 並菜の患者さん
 ※先着5名様まで(アレルギー等の対応はできません)
- **料金** 別途1,000円(税込み)いただきます。

※主治医の許可が必要なためお断りする場合がありますのでご了承ください。
 ※1/1-1/3、3/3、7/7、9月第三月曜日、計画停電の日、12/24は除きます。



献立

- 鯛の白ワイン蒸し クリーミーバジルソース
- 鶏のレモン麴焼き
- 春野菜の天ぷら
- 梅じゃこご飯
- 吸い物
- ロールケーキ



がん相談支援センターだより



がん相談支援センター がん専門相談員 松岡 悠

前々号の、「知ってる?ACP(人生会議)②」でACPのタイミングについて掲載しました。
今回もACPについて皆さんに知っていただきたく、具体的な場面をご紹介します。

知ってる?ACP(人生会議)③



アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは

自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療・ケアを受けたいかを前もって自分自身で考え、家族や身近な人、医療従事者と話し合い、共有することです。



私は85歳。元気に一人暮らししているけど、将来、**延命処置**はしないと決めているわ

時は過ぎ…急な肺炎で入院。呼吸が苦しく、話は十分にできない状況。
遠方の娘さんが帰省し、医師から病状説明を受けました。

①重症肺炎です。
延命処置を希望しますか?
今までお母さんと延命処置について話をしたことがありますか?

③分かりました。
それでは、できるだけ**延命処置**を施します。



②延命処置のことなんて、元気だったから話をしたことはありません。急なことで、私もどうしたらいいのかわからない。どうしよう。
母には長生きしてほしいので、できる限りの**延命処置**を希望します。

この例では、「患者本人の希望」と「家族の思い」を事前に話ができなかったことで、元気の時の本人の意思は十分に尊重されませんでした。

ACPの重要性

ACPを行うことで、このような認識の違いを防ぎ、本人の希望に沿った医療やケアが提供されます。また、事前に話し合いができていれば、家族も急な状況での判断の負担が軽減されます。



／ できることから始めてみよう! ／

- **自分**ができること …… 信頼できる人に自分の希望や考えを話してみよう。
病院に置いてある「私の心づもり」を活用するのもおすすめです。
- **家族**ができること …… 本人の話を聞くことで価値観を知り、意向を尊重する。
難しい時は医療者に相談してください。
- **医療者**ができること …… 本人・家族にACPの大切さを伝え、選択肢を分かりやすく説明しましょう。

ACP(人生会議)に関するご相談は、2階、がん相談支援センターまでご相談ください。

☎0855-28-7096(平日9:00~17:00) ※がん患者さん以外の方でも相談可能です

地域医療を守り もっとステキな 浜田にしよう

令和7年度採用

看護師・助産師

追加募集中



応募資格

- ① 令和7年3月に看護師または助産師の資格取得見込みの方
- ② 既に看護師・助産師の資格を有する方

採用試験日時・会場・内容

日 時：随時（相談に応じます）
会 場：浜田医療センター
試験内容：論文試験(800文字程度の小論文)
面接試験

応募方法

詳細は浜田医療センター
ホームページをご確認ください。

✓ 既卒者・ブランクのある方も大歓迎

✓ 有資格者は令和6年度から採用可能

✓ キャリアアップ・研修制度も充実

✓ 充実したワーク・ライフ・バランス

浜田医療センターホームページへGO!



独立行政法人国立病院機構 **浜田医療センター**

〒697-8511 浜田市浅井町777-12

担当：管理課 給与係長

TEL:0855-25-0505(代)、FAX:0855-28-7070(代)



浜田医療センター 外来診療担当医表

令和7年3月1日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	北條 宣政	—	上野 伸行	—	松田 花子	初診は月曜日・水曜日・金曜日のみ
	再診	北條 宣政	松田 花子	北條 宣政	—	松田 花子	
膠原病内科		—	—	—	島根大学医師 ※	—	※第2・第4 本田学
関節リウマチ外来		—	近藤 正宏 ※	—	—	—	※ 隔週火曜日 紹介患者のみ
血液内科		—	島根大学医師 ※1 ※2	—	島根大学医師 ※1 ※2	—	※1 初診は紹介患者のみ ※2 診察時間 9:30~
腎臓内科		岩下 裕 ※1	担当医 ※2	担当医 ※2	—	担当医 ※2	※ すべて予約のみ ※1 診察時間9:30~12:30 ※2 紹介患者のみ ※3 診察時間14:00~
特殊外来		シャント外来 ※3	シャント外来 ※3	—	—	—	
内分泌・代謝内科		山尾 有加	—	—	山尾 有加	—	月1回(月曜日・木曜日)大学医師診療あり
呼吸器内科	1診	河角 敬太 ※1	柳川 崇 ※1	特殊検査日 (休診)	柳川 崇 ※1	柳川 崇 ※1	※1 初診は紹介患者のみ ※2 診療場所F11 ※3 診療場所E9
	2診	貴谷 夏州 ※1 ※2	島根大学医師 ※1 ※3	—	河角 敬太 ※1 ※3	貴谷 夏州 ※1 ※2	
脳神経内科		—	島根大学医師	島根大学医師 ※1	島根大学医師 ※2	—	※1 月2回の診療 ※2 第2木曜午後
消化器内科	初診	大屋 聡	生田 幸広	齋藤 幸	古田 晃一郎	木下 泰仁	
	再診	木下 泰仁	大屋 聡	古田 晃一郎	齋藤 幸	生田 幸広	
循環器内科	初診	安田 優 ※	特殊検査日 (休診)	岡本 高史 ※	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 ※	※ 紹介患者のみ
	再診	岡本 高史	—	明石晋太郎	—	安田 優	
午後外来		ペースメーカー外来	—	失神外来	—	—	
小児科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	※ 外来担当医:堀江昭好・青木萌子・石本千夏
	再診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
午前予約外来		—	予防接種 ※1	—	—	—	※1 1才以上 診察時間10:00~ 1才未満 診察時間13:30~
午後予約外来	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	1か月健診 ※2	—	※2 診察時間13:00~ 完全予約制 ※3 毎月第3木曜日 完全予約制 ※4 毎月第1・第4木曜日 完全予約制
	—	—	—	—	—	—	
特殊外来	—	—	—	—	神経外来 ※3	—	※4 毎月第1・第4木曜日 完全予約制
	—	—	—	—	内分泌外来 ※4	—	
外科	1診	栗栖 泰郎	栗栖 泰郎	植嶋 千尋	渡部 裕志	高橋 節	※1 予約のみ ※2 診察時間9:00~11:00
	2診	—	永井 聡	原 和志	永井 聡 ※1	—	
特殊外来		—	—	—	ストーマ外来 ※2	—	
乳腺科		吉川 和明 ※1	—	鳥取大学医師 ※1 ※2	—	—	※1 予約のみ ※2 第1・第3・第5水曜日
整形外科	1診	桑田 卓	柿丸 裕之	—	柿丸 裕之 (脊椎外来)	—	
	2診	青木 伸明	桑田 卓	—	猪木迫 彩香	—	
	3診	—	本田 健	—	—	—	
形成外科		担当医 ※1 ※2	—	—	—	—	※1 毎月第1・第3月曜日 担当医:松江日赤医師(診察時間10:30~) ※2 毎月第2・第4・第5月曜日 担当医:島根大学医師(診察時間 9:30~)
脳神経外科		江田 大武 ※	手術日(休診)	木村 麗新 ※	—	内村 昌裕 ※	※ 初診は紹介患者のみ
呼吸器外科		手術日(休診)	松岡 佑樹	藤田 朋宏 ※	手術日(休診)	松岡 佑樹	※ 再診のみ
心臓血管外科		和田 浩巳	手術日(休診)	樋口 達也	手術日(休診)	白谷 卓	
皮膚科	午前	—	—	—	鳥取大学医師 ※1	—	※1 診察時間8:30~11:00 初診は紹介患者のみ ※2 予約のみ
	午後	—	—	—	特殊検査 ※2	—	
泌尿器科	初診	手術日 (休診)	担当医	担当医	担当医	担当医	
	再診	—	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	担当医	
産婦人科	1診	小林 正幸	田村 雄次	榎原 貫	田村 雄次	小林 正幸	※1 10:30で交代となります
	2診	田村 雄次	榎原/下田 ※1	小林/下田 ※1	下田 秋穂	榎原 貫	
午後予約外来		—	—	—	—	産褥外来 ※2	※2 診察時間13:00~15:00
耳鼻咽喉科	初診	鳥取大学医師 ※1	—	—	—	鳥取大学医師 ※1	※1 診察時間8:30~11:00 初診は紹介患者のみ ※2 受付時間13:00~15:30 診察時間13:00~15:30
	午後外来	—	—	—	鳥取大学医師 ※2	—	
放射線科		吉田弘太郎	特殊検査日(休診)	特殊検査日(休診)	特殊検査日(休診)	吉田弘太郎	
緩和ケア外来		—	担当医 ※	—	—	—	※ 診察時間 13:30~15:00
リハビリテーション科		—	—	—	—	—	入院患者のみ
麻酔科		担当医 ※	—	—	担当医 ※	—	※ 診察時間 9:00~ 術前診療のみ
歯科口腔外科		都田絵梨奈 ※	都田絵梨奈 ※	手術日	都田絵梨奈 ※	都田絵梨奈 ※	※ 初診は紹介患者のみ

診療受付時間／午前8時15分～午前11時00分(再来受付機は午前8時から稼働)

原則予約制

- ★ 紹介状をお持ちの方は地域医療連携室を通して予約をお願いします。
- ★ ご予約がない場合は、来院日に診療が受けられない場合もございますのでご了承ください。

編集後記

暦の上では春ですがまだまだ寒い日が続きます。
春が来るのが待ち遠しいです。みなさまご自愛ください。
(M.H)

表紙/旧三江線江津市川戸駅
写真提供/河野 義信(浜田医療センター)



浜田医療センター情報誌
スタイル&ノート

VOL.69 (2025年春号) 発行責任者/浜田医療センター 浜田市浅井町777番地12 浜田医療センター院長 栗栖 泰郎 TEL 0855-25-0505

制作/株式会社 D52